

児童・生徒の現状・課題

- ・語彙力が乏しいため、自分の言葉で表現できない。
- ・間違った問題の直しをせず、そのままにしてしまう児童が多い。
- ・学力が低く、学習に対して受け身になりがちである。

**学び続ける力を育むための重点目標**

○モジュール学習で身に付けた基礎・基本の力を土台とし、子供が自ら学習サイクルを回す「自己学習力」を身に付けることで、探究的な学びへと繋げる。

**児童生徒調査**

肯定的回答の割合(%)	昨年度	目標(7月)	結果(1月)
①自分から進んで計画を立てて学習している。	82.6	85.0	
②やってみたいことや挑戦したいことがある。	93.8	95.0	

教員調査

肯定的回答の割合(%)	昨年度	目標(7月)	結果(1月)
①授業では、学習課題や学習過程等、児童が学び方を選択する場面を設定している。	81.3	85.0	
②児童の興味・関心を高める工夫をしたり、児童が取り組んだことに対して、受容・称賛・励まし等の価値付けを行ったりしている。	93.6	95.0	

具体的な手だて①

週4回のモジュール学習において、音読、百ます計算、漢字、タイピングの反復学習を行い、基礎基本の定着を図る。

具体的な手だて②

与えられる、指示される、やらされる学習を脱却するため、「けてぶれ」(計画、テスト、分析、練習)を導入し、自己学習力の習得を図る。

具体的な手だて③

地域人材・環境を生かした探究テーマを各学年で検討し、年間を通したワクワクする探究的な学びを作る。

**校内で共有し、授業改革を日常化するための工夫**

- ・日々の実践や成果を共有できるOJTや報告会を定期的に行い、情報共有ができる場を設ける。
- ・共有ドライブや校内掲示板等を活用し、授業実践や教材、研修報告を共有できるようにする。

総括(7月)**総括(1月)**